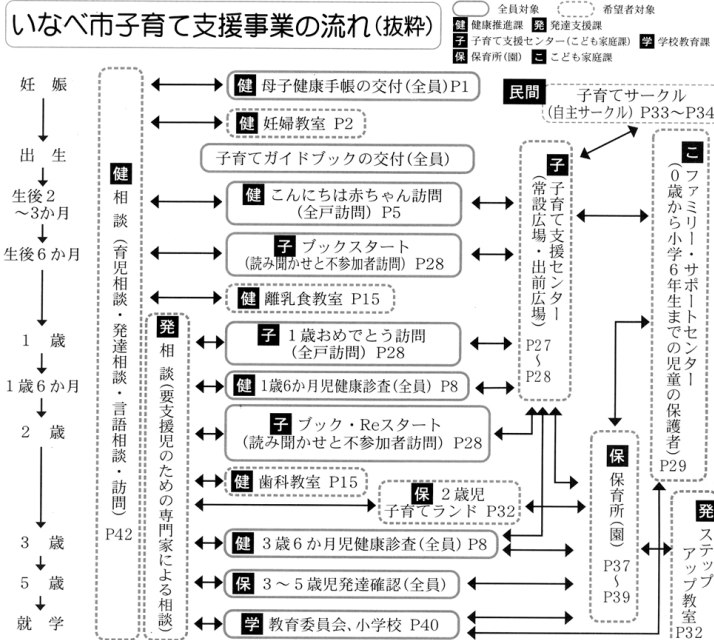




こんにちは！ 日本共産党の 小山ゆりえです



党市議団 視察報告

「子育て支援」の充実を

三重県いなべ市から学ぶもの

11月18日、日本共産党蓮田市議員団で三重県いなべ市に子育て支援についての視察に行ってきました。

施策を実施していますが内容が素晴らしいのです。赤ちゃん訪問は身長測定器などを

子ども家庭課・健康増進課・学校教育課・発達支援課が連携して妊娠から就業までの子ども支援の取り組みを行っているが、とりわけ充実しているのが、生れてから就学までの子ども見まもりについてです。

赤ちゃん訪問(生後4ヶ月)から始まって左図のように様々な施設にきて頂き、我が子をひざのせて絵本を読んでもらい、親子が肌のぬくもりを感じながら言葉と心を通わす、そんな時を大切に、絵本のプレゼントをします。

子どもの発達を見極めるのに重要な時期の5歳児発達確認も行っています。その他、すべて詳しくご紹介できないのが残念ですが、お母さん達に寄り添い、健やかな子育てを支援するいなべ市の施策に感動しました。

蓮田市でも近づけるよう「頑張っていきたい」との思いを強くしました。

(小山ゆりえ)

「秘密保護法」は撤廃せよ！



「はすだ9条の会」も国会前行動に参加
12月6日の参院本会議で
自公両党の賛成で強行成立
されました。
日弁連や日本ペンクラブをはじめとした多くの団体、個人が反対を

表明し、世論調査でも国民の8割以上が「審議不十分」と批判しています。

日本共産党は最後まで反対を貫く

参院では世論の力に押され、「慎重審議」の一点で7野党が合意し、街頭宣伝も実現しました。しかし本会議の採決では、一旦は退席した後またもどって反対した民主党や、「修正」に応じたものの、党としては退席した維新とみんなの党に対し、日本共産党は最後まで反対を貫きました。

反対の声を上げ続けましょう

強行成立翌日の多くの新聞は「個人より国家優先の思想」など、痛切に批判しています。法案成立後も反対の声は広がっており、安倍内閣の支持率も初めて5割を切りました。国は私たちがあきらめるのを待っています。「秘密保護法」は撤廃させるしかありません。「撤廃署名」など、あきらめずに取り組んでいきましょう。

平和のための蓮田戦争展

「戦争たいけんの話を聞いて」

「はずだ9条の会」事務局 富江寛二

12月7日(土)の午後、中央公民館で戦争体験をお聞きしました。

当日は約70名の参加で部屋も一杯になり体験者も熱のこもった話しとなりました。

安倍内閣が秘密保護法の制定や集団自衛権の容認など「戦争への道」に突き進むようとしている現在、この貴重な体験をより多くの方にも知ってもらうため、2名の方のお話の一部を紹介させていただきます。



三枝利雄さん(馬込在住)

私は小学校4年生の時、東京から山梨に疎開しました。両親や弟と離れ一人になりましたが、当時の

状況では「親子の情」なんてものは無視されてしまったので「寂しい」なんて思ってはならないと子供なりに考えていました。疎開先では勉強はせず、畑の草取りや蚕の世話などの農作業に使われていました。

蓮田では妙楽寺に3歳から5歳の保育園児53人が東京から疎開した話が絵本になっています。小さいころ環境が変わると違う人間になってしまう、人生を損なってしまうことがあります。

また強制疎開と言って、空襲による延焼を防ぐ為に民家を壊す様なことも行われましたが、どう

せ焼けるのだからと補償なんて考えずに諦めていたようです

「何でもお国の為」と言う時代でしたが、またこのような時代にならないよう、皆さんも頑張ってください。



稲葉 續(さとし)さん(岩槻在住)

昭和18年学徒出陣で半年繰り上げ卒業をして即入隊した。当時は天皇の為に死ぬことは親孝行だし、名譽なことと思っていた。

しかし実際の軍隊はまるで「ヤクザ集団」で無意味に倒れるまで殴られ歯が折れてしまった。耐え切れずに自殺者まで出るような状況でした。また捕まえた兵隊を殺す訓練をして、首を並べて置くなど人間性を無くするのが教育であった。

配属されてからやったことは民家に押し入、食料の略奪と放火であった。住人は事前に逃げて全く居なかった。行軍途中の荒原に「塩の山」があちこちに見られ、それが人骨とわかって驚いた。まさにこれが「三光政策」の痕跡でした。

「終戦」無線聞いたが、「米軍には負けたが、中国には負けていない」として武装解除しなかった。昭和21年、中国国民党軍と日本軍第一軍司令官とで「密議」があり、戦犯を帰国させる代わりに、日本軍の一部を残して共産軍と戦わせることにした。そのため「祖国復興の為に残れ」という命令により、私も含めて千六百名の兵隊が残った。その後共産軍の捕虜となり、帰国したのは実に終戦11年後の昭和31年でした。

ところが政府はこの「残留命令」を無視して、「勝手に残留した逃亡兵」として処遇した。そして現在に至るも無視し続け、我々全員が死亡して居なくなるのを待っているのが、現在の政府である。

侵略戦争を肯定する安倍政権の秘密保護法はかつての軍機保護法である。安倍は「タカ派」なんてものではない、「醜いハゲタカ」である。

(稲葉さんは実際は西暦でお話しされましたが、編集の都合等により和暦に変換させていただきました)

今回新たな試みとして、体験者の方からお話を引き出す役で若い女性の方にも進行に参加してもらいました。その中の1名の方より、一言感想を寄せてもらいました。



野田沢さん(太陽の里勤務)

戦争の実体験の話を聞いて、今の平和のありがたさを改めて実感する事ができました。

編集 後記

今年7月の参院選での躍進や、先の国会での「秘密保護法」をめぐる激しいたたかいなどがありました。

来年は4月より消費税の引き上げが予定される半面、蓮田市の子ども医療費無料化が中学生まで拡大されるなどうれしいニュースもあり、暮らしを守るため更なる頑張りが必要だと感じています。

